

まなびの森

校長通信 第1号 R2.4.15
廿日市市立吉和小・中学校
校長 森岡 勝司
TEL(0829)77-2010

教育目標「夢や目標をもち、自己実現をめざす児童生徒の育成」

令和2年度教育課程研究指定校として 吉和づくりに貢献します！

中四国で一番高い標高に位置する本校は、自然はもとより、あたたかい地域の皆さまに支えられた素晴らしい学校であると思います。吉和の地で仕事ができることに感謝の思いで一杯です。保護者、地域の皆様とともに未来の宝である吉和の子ども達を全力で育てていきたいと思えます。よろしく願いいたします。

このたびの人事異動により、吉和小学校には新任の中野浩子教諭と事務に新任

のフィスチャー・レイナ主事を迎え、吉和中学校には茶堂智暢教頭、新任の音楽科の小川里菜教諭、国語科の兼房高広教諭、技術科の柏尾良一教諭を迎えました。今年度のスタッフにつきましては、学校だよりをご覧ください。

先週は、コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、教職員、新1年児童生徒と保護者、在校生代表の参加による入学式を挙げていただきました。

式辞で小学生には、「あいさつ」「聴くこと」「読書」の大切さを語り、中学生には、「未来を創るのは今！この瞬間の頑張りが未来を創ることから、夢や目標を実現するためにも粘り強く挑戦する人に！」との趣旨のことを述べました。小中あわせて14名の新入生を含めた45名の児童生徒が、自身の自己実現、つまり夢や目標を達成させるために、粘り強く挑戦することを期待しています。「チャンス、チャレンジ、チェンジ」を教職員と児童生徒の共通の合言葉にして頑張っていきたいと思えます。

今年度は文部科学省の令和2年度教育課程研究指定校事業により2か年の研究指定をいただき、「総合的な学習の時間」の充実に向け、SDG s の視点をふまえた持続可能な吉和づくりについて研究を進めていきます。

ちなみにSDG s とは何かと申しますと、持続可能な開発目標を意味します。2015年に国連が2030年までの達成をめざして17の目標が決められました。気候変動による異常気象、海や森などの自然環境の破壊や汚染、多発する紛争などの諸課題に対して、より良い未来を創るための「世界の約束」とも言えます。

そこで本校では、テーマを『「SDG s」で吉和の未来を考える～持続可能な吉和のまちづくりに向けて～』とし、吉和地域や世界的な諸課題に対して、行政や企業、地域住民へ向け、持続可能な吉和のまちづくりに関して提案していきます。地域の皆様には多大なご協力をいただくこととなりますがよろしく願いいたします。

今年度の吉和学園教職員は、「児童生徒にとって最大の教育環境は教師自身である」との自覚で、小規模校だからこそできること、一人一人が持つ可能性を存分に引き出し、学力を確実に伸ばし、進路の実現に全力で取り組んでいきます。保護者、地域の皆様のご理解とご協力をよろしく願いいたします。

